

医療法人社団 福生会

斎藤労災病院

日本医療機能評価機構認定病院
人間ドック・健診施設機能評価認定病院
労働衛生サービス機能評価機構認定病院
労災二次健康診断等給付指定医療機関

まごころ

一体感を持って進む

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。旧年中、当院に賜りました数々のご厚情と御支援に対しまして職員一同心より御礼申し上げます。

今年は暖冬のせいか、インフルエンザの流行が遅れているようです。しかし、寒さも本格的となり、当院におけるインフルエンザの患者数は少しずつ増加していますので皆様におかれましても手洗いうがいなど、より一層予防に努めて頂きたいと思えます。

さて、医療を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。慢性的な医師・看護師不足、医療費の膨張(40兆円超え)、2025年に向けての地域医療構想、進まぬ予防医学など、様々な問題が挙げられます。

しかしながら、私たちは国民皆保険制度のもと比較的 low負担にて治療を受けることができます。この制度のおかげで私たちの健康を守ることができているのは素晴らしい事です。更に日本の医療



医療法人社団
福生会
理事長 斎藤 順之

は世界的にも高く評価されており、医療技術、医療機材等どれをとっても世界最高水準であります。一方、残念ながら、予防医学の啓発・普及は先進国の中では遅れをとってしまっています。

予防医学とは病気になってから治すというのではなく、病気になりにくい心身を作ることです。病気を予防し、健康を維持するという考え方です。第1次予防：疾病の予防(教育、予防接種)、第2次予防：重症化の防止(健康診断など)、第3次予防：疾病の再発予防(リハビリテーションなど)に分類されています。

当院では健康管理センターを中心に健康の保持増進、病気の早期発見、早期治療を進めております。予防から治療まで地域の皆様のお役にたてるのではないかと考えております。

病院の理念でもある『全人的医療の提供と保健に貢献する』を基にこの厳しい状況を乗り越えて行きたいと考えております。そして、法人の職員全員が同じ目標に向かい、皆で見て・考え・計画し・実行に移す、team&workで、更により良い医療を皆様に提供して参ります。

今年一年、さらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

目次：

福生会理事長よりご挨拶

1

斎藤労災病院院長よりご挨拶

2

ショートステイの開始について

2

健康管理センターの充実

3

医師紹介(健康管理センター)

3

あんしんかんの「今」

3

充実した通所リハビリテーション

4



中央棟 外来待合



中央棟 スタッフステーション

新設し、とても明るくなった院内

より充実した病院を目指して

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年も世界において様々な出来事がありました。日本人お二方のノーベル賞受賞や、新幹線網の拡大といった国内の明るいニュースの影には、大きな風水害や火山の爆発、100万人を超す難民の移動、テロ事件等々心静かではいられない日々もありました。国内の医療の現場も同様です。医療事故防止に関する新しい制度の発足や産業衛生分野でのストレスチェックの導入など国民が安全な医療を享受し、心身共に健やかに健康寿命の延伸につながる嬉しい変革もあれば、一方、未熟な技術や単純なミスが引き起こした残念な医療事故の報道に触れることもありました。

そんな状況下でも皆様の温かいご支援により、何とか1年を無事終えることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

さて当院での昨年の最も大きな出来事は、2月から新病棟での診療を開始した事です。1階を外来ユニットでまとめ、2階は急性期病棟、3階は療養病棟、4階はフロア全体をリハビリ関連施設とし、人の動きと機能を

考慮した形に仕上げ、ご利用者からのご好評を頂いております。以前の外来棟はリニューアルし、人間ドックや来院健診の方々に開放することができました。また旧入院施設にも手を加え、短期入所生活介護事業（ショートステイ）として9月に認可を受け、ご利用者の受入れを開始しています。

診療では質の向上を目指して、専門性の高い医師の参加を頂き、大腸がん、婦人科で専門の医師の診察・検診を開始しました。

組織面では、看護・介護部門に副院長を据え、指導・管理体制の充実を図っています。

このような動きの中で、本年もより一層、職員一人一人が研修・研鑽を積み、個の能力の向上を目指すと共に、法人としても職員の連携連帯システムを強化し、厚みのある病院に育つよう日々、確実に前進して参る所存でおります。どうぞ本年も旧年同様の、あるいは倍旧のご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様方の心と体の平安を願い、新しい年のご多幸ご活躍をお祈り申し上げます。



斎藤労災病院
院長 寺林 秀隆



中央棟（新病棟）



健康管理センター

福生会ショートステイのご案内

当法人（福生会）では平成27年9月1日からショートステイを開始しました。ショートステイは、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とした施設です。常に介護が必要な方の短期間の入所を受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などをご提供します。ご本人・ご家族の状況に合わせて1泊から3カ月程度のご入所が可能です。



ショートステイ専用フロアで静かな環境です。広い居室で快適な療養生活をお過ごしください。ご家族が歓談できるスペースもご用意しています。

病棟をショートステイ用にリニューアルしました。
定員15人のゆったり空間。
数週間・1カ月といった長期でも快適な専用フロアです。
ナースコールや酸素・吸引設備は病院仕様です。



病院が運営していますので、療養生活は看護・介護のプロである看護師・介護士にお任せ下さい。
急変時には斎藤労災病院でバックアップいたします。



御面会の際に、くつろげるスペースをご用意。
ご本人の近くにいる安心感。ご家族でご歓談下さい。

【斎藤労災病院】の敷地内に誕生しました。

お問い合わせは相談員 吉田まで

健康管理センターをリニューアルしました

産科婦人科専門医による婦人科検診の開始・受診スペースの拡充

中央棟(新病棟)の竣工に続き、健康管理センターもリニューアルしました。これまで外来と療養病床があった棟を全面改修し、1・2階を健康管理センター専用のフロアとし、人間ドック・健康診断をゆったり受診いただけるようになりました。検査体制も充実させ、婦人科検診スペースを配置し、乳がん・子宮がん検診が当センターで受診いただける環境となりました。設備面では検査待合室を広くし、男性・女性を分け、女性にはパウダールームも準備しています。千葉市の特定健診や各がん検診も当センターで承ります。これまで蓄積した健康管理のノウハウを集約し、予防から治療まで一貫した診療体制をより強固なものにさせて参ります。個々の健康意識が高まる中、様々なご要望にお応えできるよう今後も健康管理センターの充実を図ってまいります。皆様のご利用を心よりお待ちしております。



健康管理は私達にご相談下さい。～充実した医師の体制～

新たに入職した医師の紹介（健康管理センター）

健康管理センター・副院長 齋藤典男 医師

千葉大学医学部卒

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本大腸肛門病学会指導医
国立がん研究センター東病院 消化管腫瘍科下部消化管外科長を歴任

皆様へ「健診にいらっしゃる皆さんが笑顔になれるように診察致します。」

スタッフより【国際的に活躍される大腸ガンのスペシャリスト。我々スタッフに対してもやさしく接していただける頼れるドクターです。】



婦人科検診 仁藤章夫 医師

千葉大学医学部卒

日本産科婦人科学会専門医

千葉市内関産婦人科院長を歴任

皆様へ「心配な症状がありましたらご遠慮なく相談ください。」

スタッフより【長く産科のご経験を有する婦人科のスペシャリスト。人に対する接し方も誠実で、話をしているだけで癒されます。】



老人ホームあんしんかん情報

～差別化が進む老人ホーム～

施設長 海保昌司

あんしんかんは2009年5月に開設し、現在7年目を迎えております。2014年7月に、住宅型から千葉市より指定を受けた介護付有料老人ホームへと転換しました。介護事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、その中で安定した経営を継続する事が「あんしんかん」の使命であると考えております。他施設では難しい医療行為の必要な方を積極的に受け入れ、入居者・ご家族から高い評価を頂いております。又、社会問題にもなっている介護スタッフによるご入居者への接し方については、徹底した人材教育を行っています。スタッフ確保については処遇改善に注力し、あんしんかんの基本理念である「笑顔とやさしさの分かち合い」を心に留め、ご入居者により良い生活を送っていただけるよう職員一同精進して参ります。



継続的な処遇改善やスタッフ教育にも力を注ぎます

充実した通所リハビリテーション

リハビリテーション科 科長 松村直樹

今回は斎藤労災病院が運営する開設7年目の「あんしんかん」と、昨年2月に開設した「そうかいかん」。2つの通所リハビリテーション（以下「デイケア」）の特徴をご紹介します。

唐突ですが、みなさんは旅行はツアー旅行とパック旅行ではどちらがお好きですか？ ツアー旅行が好きという方には、バスに乗り、添乗員さんに任せていけば、旅行会社が用意しているいろいろな名所やイベントを楽しめるという「あんしんかん」が魅力のひとつではないでしょうか？ 一方、パック旅行を選ばれた方は、泊まるホテルなどは事前に決めているが、どこの名所を回るか、回る順番や時間など一日の過ごし方を自由に決められることが魅力と感じていることと思います。どちらもそれぞれ魅力的ですが、その時の体力や気分等でどちらかを選択出来ることが、利用する側にはありがたいサービスですね。

さて、話はデイケアに戻り、デイケアはこれまで「ツアー旅行タイプ」というのが常識であり、残念ながらパック旅行のように選択の余地がありませんでした。「ツアー旅行タイプ」のデイケアとは、一日の過ごし方が、来所されてから午前中はリハビリやお風呂などで過ごし、午後は皆でゲームやカラオケなどのレクリエーションをしたり、夏祭りやクリスマス会などの季節のイベントを楽しむ、というのが一般的で、利用者様はスタッフの指示に従っていれば一日あんしんして過ごすことが出来る、というものです。本院が運営する「あんしんかん」も「ツアー旅行タイプ」のデイケアとして、たくさんの方々にご利用いただいています。しかし、中には一日の過ごし方は自分で決めたい、皆で同じことをして過ごすのは嫌だという不満の声もあり、それを理由に利用をためらう方もおられました。そこで、これまでの常識を打ち破る「パック旅行タイプ」のデイケア「そうかいかん」を昨年2月にオープン致しました。

「そうかいかん」は「シルバーフィットネス&スパ」をコンセプトに、セラピストによる個別のリハビリの他に、各種トレーニングマシンや集団運動プログラムを豊富にそろえ、屋内とルーフバルコニーでは自由に歩行訓練が出来るスペースを整えているほか、足湯やウォーターマッサージベッド、畳敷きの脱衣所や洗い場を備えた男女別の大浴場などスパゾーンも充実しています。利用者はそれらを自由に利用し、ご自身で一日の過ごし方を決めることができ、おかげさまでオープンからこれまで120名以上の方にご利用いただいております。

これからも自身の求める目的によって選択できる「あんしんかん」・「そうかいかん」2つのデイケアの充実を目指し、皆様にご満足いただけるサービスを提供して参ります。百聞は一見にしかず、ご興味ある方はお気軽にご見学にいらしてください。



洗い場まで畳の浴室



屋外（屋上）の運動も開放的



↑広いスペース「そうかいかん」 ↓



～病院からのお知らせ～

- 当院では節電を継続して実施しております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
- 保険証の確認にご協力をお願いいたします。
- 高気圧酸素治療には便利な予約をご利用下さい。お電話で承ります。（初診の方は除く）
- 当院へのご意見は院内の「ご意見箱」もご利用ください。↓↓↓

編集後記

- 本年もどうぞよろしくお願い致します。私事、年始のおみくじで初の「凶」を引き当てましたが、「凶」が出る確率は少ないので逆に「ラッキー」だと言われその言葉を信じています。言葉は大切ですね。（O）
- 中央棟が竣工して早くも一年が経ちました。今年は病院の「中身」を充実させる段階です。「外見」に負けないように「中身を鍛えて」まいります。（T）
- 昨年は中央棟のオープンや健康管理センターのリニューアル等々変化の年でしたが、本年も引き続き気を引き締め、地域に愛される医療機関を目指してまいります。（H）

病院内ご意見箱設置箇所

中央棟・・・1階受付及び各階スタッフステーション
健康管理センター・・・1階エレベーターホール
ショートステイ・・・1階スタッフステーション
介護病棟・・・1階スタッフステーション

皆様のご意見を！



千葉市中央区道場南1-12-7
代表電話 043-227-7437

発行者



医療法人社団福生会

ホームページもご覧下さい
<http://www.saito-rosai.or.jp>